



とやま障害者フレンドリー企業

事業所名

社会福祉法人 萬葉の杜福祉会

事業概要

経費老人ホーム、小規模多機能型居宅介護事業

障害者の雇用状況

従業員数：48人

雇用障害者数 身体0人（うち重度—） ・ 知的2人（うち重度—） ・ 精神1人

障害者が従事する業務

知的障害者：館内清掃業務

精神障害者：介護業務

障害者雇用のきっかけや目的(雇用に対する考え方)

◆創設者の企業理念から、お年寄りや障害者などすべての人が共にその人らしい生活を営むことができるノーマライゼーションの考え方を推進しており、それぞれの持つ能力を十分に発揮して働き、地域住民から信頼される企業を目指している。

◆支援学校の紹介により知的障害者を1人採用したのがきっかけでその後も採用するようになった。

障害者雇用定着のために工夫されている取組みなど

◆知的障害者の雇用について

(1) マニュアル作り

採用当初は、マンツーマンで作業手順を指導していたが、半年ほどで作業に慣れ軌道に乗ってきた。この過程で仕事の手順を覚えてもらうために、曜日ごとに1日の作業順に作業内容を記載したチェック表を作成した。（採用から1年かけて作成。一つの作業が終わると確認する欄のあるチェックリストの体裁となっているもの。）

このチェック表は、作業の確認だけでなく、本人の職場での目標項目についても達成できたか確認する体裁となっている。（目標項目：①大きな声で挨拶する。②身だしなみをきちんとする。③丁寧に仕事をする。④決められた手順を守る）

毎日の作業終了後、チェック表を各職場の責任者に提出している。その際は必ず、その日1日の作業などについて、困ったことがなかったかなど本人と話をするようにしている。

(2) 勤務時間が長くなると仕事にムラが出やすくなるため、その人に合った勤務時間としている。また、本人の混乱を避けるため、作業場所、作業内容は固定し、当初は常に同じ人が指導するようにしていたが、慣れてからは毎日単独で決まった作業をしている。

◆精神障害者の雇用について

体調により休暇をとることがあるが、業務は他の介護職員と同じようにこなしている。本人の体調に配慮して勤務日、時間を決めている。

施設(施設長・センター長)の声など

- ① 小さなことでもうまくできたことに対して褒めることや、「ありがとう。」と声をかけるようにしており、障害者本人も達成感をもって働いている。3人とも職場では比較的年齢が若く、他の職員は、障害者を温かく見守っており、長く安定して働いている。
- ② 知的障害のある職員ともコミュニケーションはできており、困ったことがあれば相談できる環境にある。また、障害者就業・生活支援センターからも定期的に訪問され、アドバイスを受けることができる。
- ③ 今後とも創設者の理念に基づき、障害者の方も共に働ける環境作りを整え障害者雇用に取り組んでいきたい。



今日は5階展望大浴場の清掃です。
(立山連峰が一望出来ます。)



パズルを使った介護介助です。